

# 茨建協

## ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2024.3 NO.656



### ✿ 茨城のお祭り ✿

#### 第48回古河桃まつり 3月16日(土)~3月31日(日)

会場となる古河公方公園には6品種約1700本の花桃が咲き誇り、園内を一面鮮やかなピンク色に染め上げる様は、まさに桃源郷。日本一の花桃の里は一見の価値あり。

#### CONTENTS

- 県建産連、県建設関連団体が新春の集い
- 土木委員会が県検査指導課・監理課と意見交換
- 現場見学会・インターンシップを実施
- 3月から新たな設計労務単価が適用

# 協力して働き方改革を

## 県建産連、県建築関連団体が新春の集い

本会も加入している茨城県建設産業団体連合会（石津健光会長）は2月15日、茨城県建築関連団体交流会（柴和伸会長）との令和6年新春の集いを水戸市の水戸プラザホテルで開催しました。本会の正副会長や常任理事をはじめ、構成各団体の代表、大井川和彦知事などの来賓、合わせて約100名が参集。元バレーボール女子日本代表監督の中田久美氏の講演を聞いたほか、懇親会で働き方改革や生産性向上に向けて意見を交換。関係者が協力して週休2日に対応していくことを確認しました。



石津会長



柴会長



大井川知事



半村県議会議長

懇親会では、主催者あいさつとして柴会長が週休2日が本格化することに触れ「どういう状況をつくっていけば良いのか、建設・建築関係の皆さんと相談しながら、対応していきたい」と述べました。

石津会長も、本年4月から時間外労働の上限規制が適用されることを踏まえ、「建設業者、専門業者、建築関係者が一つのチームとなって、一つずつ課題解決をしていきたい。定められたルールのもと、適切な工期で適正な利潤を得て、若い人に選ばれる業界としていきたい。一緒に取り組んでいこう」と訴えました。

大井川知事は、県の方針として「選択と集中」を掲げていくことを紹介。「新しいことに集中して取り組めば、必ず道は拓けると思う。これからも皆さんと一緒に、創意工夫とチャレンジ、選択と集中で頑張ってまいりたい」と話しました。

半村登県議会議長は「近年は自然災害が多発し

ている。強靱な県土づくりを推進しなければならない。広域交通ネットワークの整備も必要である。県議会でも、県民が幸せを実感できる、活力ある茨城の実現に取り組んでいく。ご協力をお願いしたい」と呼び掛けました。

その後、参加者は本年の飛躍を誓い、同交流会の舟幡健副会長による発声で乾杯。懇親を深め、さまざまな意見交換を行いました。



本年の飛躍を誓い乾杯しました

## 元バレーボール女子代表監督 中田久美氏が記念講演



中田氏

新春の集いの講演では、中田久美氏が「強いチームを作るチームマネジメント」について自身の体験を紹介しました。

中田氏は、選手時代の「夢を現実にするための準備と覚悟」、監督としての「育成・強化、マネジメント」、未来に向けての「新たなチャレンジ」について話しました。

そして「目標を明確にすれば、やるべきことは



中田氏がチームマネジメントについて紹介しました

見えてくる」と強調しました。

## 土木委員会 働き方改革へ県検査指導課・監理課と意見交換



梅原委員長



梅澤技術管理統括監兼  
検査指導課長

土木委員会（梅原基弘委員長）は2月16日、茨城県土木部の検査指導課・監理課との意見交換会を水戸市の協会本部で開催。働き方改革や生産性の向上につなげるため、週休2日制促進工事や総合評価方式の実施方針などについて意見を交わしました。

梅原委員長は「4月からの時間外労働の上限規制に対応し、職場環境の改善などに対応していきたい。ICTなどで経営基盤を強化し、適正な利益を確保して社員の賃金向上にも取り組んでいく」と望みました。



梅澤信行技術管理統括監兼検査指導課長は、時間外労働の上限規制の施行まで2カ月を切ったことに触れ、「県としても円滑に工事を実施していただけるよう、適正な価格、適正な工期設定に取り組んでいく。工事の平準化についても調整している。意見交換の場を通して忌憚のないご意見を」とあいさつしました。

議事では、週休2日制促進工事の発注者指定型、工事事故防止への対策、総合評価方式の実施方針、検査書類限定型工事、資源有効利用促進法などについて意見を交わしました。

## 経営企画委員会 24年度事業計画を協議



経営企画委員会（鶴田哲男委員長）が3月5日、水戸市の協会本部で開かれ、令和6年度の事業計画案を協議しました。令和6年度も、会員の働き方改革の推進や生産性の向上に資する事業として週休2日制の推進、建設キャリアアップシステム（CCUS）への対応、外国人材の活用などを推進していきます。鶴田委員長は「本年度活動の反省と次年度の計画をご審議いただく。実りある協議を」とあいさつしました。

## 現場代理人対象に スキルアップセミナー

本会が後援し、茨城県土木施工管理技士会が主催する「現場代理人スキルアップセミナー」が2月20日と21日に水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催されました。参加した技術者は、マネジメントの基本、安全対策、実行予算の作り方、施工計画の書き方・まとめ方、現場代理人のリーダーシップとマネジメントなどを研修しました。

## 経営力強化セミナーを開催

本会は2月8日、茨城県中小企業課と建設業を対象とした経営力強化セミナーを水戸市民会館で開催。参加者は、外部環境の変化や自社の現状を踏まえ、①自社の将来を考えると②補助金や助成金を活用することで自社の成長を図ること③事業承継や事業計画の作成方法—を研修しました。

## 高校生、専門学校生、 大学生を対象に 現場見学会・インターンシップを実施

本会は令和5年度も会員企業の皆さまのご協力をいただき、若年層の建設業への入職を促進するため、県内の高校生や専門学校生などを対象に建設現場見学会とインターンシップを昨年6月から11月にかけて行いました。

現場見学会は10校から616名が参加。（仮）みどりの南小学校・中学校建設工事、突堤整備工事などで理解を深めてもらいました。

インターンシップは延べ41社が実施。4校から108名を受け入れていただき、実際の作業などを体験してもらいました。

参加した生徒や教員は「建設業や工事現場を身近に感じることができました」などと感想を話し



現場見学会（建築系）



現場見学会（土木系）



多くの学生が参加したインターンシップ



作業も体験してもらいました

ていました。

協力いただいた関係者の皆さまに改めて感謝申し上げます。

# 全国全職種で5.9%上昇

3月から新たな設計労務単価適用

国土交通省と茨城県は、本年3月から適用する公共工事設計労務単価を明らかにしました。全国全職種（51職種）の単純平均は前年度比5.9%上昇し、2年連続で5%以上伸びを示しました。

平成25年度以降、12年連続で上昇。平成25年度比で75.3%上昇しています。

茨城県内の主な工種の新たな設計労務単価は表の通りです。

茨城県の主な工種の設計労務単価（単位：円）

	特殊作業員	普通作業員	軽作業員	鉄筋工
令和6年3月以降	25,100	24,000	16,100	28,200
必要経費を含めた参考値	35,300	33,700	22,600	39,600
令和5年3月以降	23,700	22,600	15,400	26,500
増減率（%）	5.9	6.2	4.5	6.4
	運転手（特殊）	運転手（一般）	交通誘導警備員A	交通誘導警備員B
令和6年3月以降	28,200	23,000	17,900	16,400
必要経費を含めた参考値	39,600	32,300	25,200	23,100
令和5年3月以降	27,000	21,700	16,900	15,300
増減率（%）	4.4	6.0	5.9	7.2

# 公共事業費は1.1%増

茨城県の令和6年度予算案

茨城県は、令和6年度の当初予算案をまとめました。総額は1兆8835億3700万円。そのうち公共事業費は1101億1000万円で、前年度比1.1%増。国補公共事業では災害に強いインフラづくりなどを、県単公共事業では道路や河川の維持管理、新産業廃棄物処分場の関連道路、牛久沼越水対策などに取り組みます。

計上した主な建設事業は次の通りです。

◆保健所庁舎リニューアル事業＝

6億6300万円

- ・工事（土浦）
- ・基本設計（古河、潮来、竜ヶ崎、つくば）

◆警察署等建設整備事業＝

7億5600万円

- ・工事（古河）

- ・基本設計、用地購入（石岡）

- ・解体工事等（太田）

◆国補公共事業（補助事業）＝633億3900万円

- ・道路橋梁、河川、港湾、土地改良等

◆県単公共事業＝304億1700万円

- ・河川土砂浚渫護岸修繕、急傾斜地崩壊防止
- ・道路落石対策、法面崩壊防止
- ・道路及び河川、下水道管渠等の維持補修

茨城県 当初予算の公共事業費（特別・企業会計含む）

（単位：百万円）

区分	6年度	5年度	増減率
国補公共事業	79,693	81,950	▲2.8%
補助事業	63,339	65,637	▲3.5%
直轄負担金	16,354	16,313	0.3%
県単公共事業	30,417	26,984	12.7%
合計	110,110	108,934	1.1%

# 月単位の週休2日へ補正係数

## 国交省 土木工事積算基準を改定

令和6年4月から建設業でも時間外労働の上限規制の適用が開始されることを踏まえ、国土交通省は令和6年度の土木工事積算基準を改定しました。直轄工事において週休2日の「質の向上」を拡大するため、工期全体での週休2日の標準化を踏まえ、月単位の週休2日推進へ補正係数を新設します。また、完全週休2日（土日）を促すため実施企業の成績評価に加点。土日を休日とする週休2日に努めることを土木工事共通仕様書に規定します。



その他、時間外労働の上限規制適用への対応策は次の通りです。

- ◆工事、業務における現場環境の改善
  - ・勤務時間外作業を避けるため「ウィークリースタンス」の徹底
- ◆受注業者の書類作成業務のさらなる負担軽減
  - ・受発注者の役割分担を明確にしたガイドライン等の作成、受発注者への周知徹底
  - ・書類限定検査（44種類→10種類）の原則化
- ◆時間外労働規制適用に対応するための必要経費の見直し
  - ・書類作成の経費などによる現場管理費の増加を反映
- ◆移動時間を踏まえた積算の適正化
  - ・事務所や資材置き場から現場への移動時間を考慮した歩掛の見直し

### 技能労働者の適正賃金確保を

#### 国交省から要請

国土交通省不動産・建設経済局長から、新たな公共工事設計労務単価が公表されたことに伴い、これまで以上に適切な賃金水準の確保に万全を期し技能労働者の処遇改善を図るよう要請がありました。会員の皆さまは周知徹底をお願いします。

要請のポイントは次の通りです。

1. 技能労働者への適正な水準の賃金の支払い
2. 新労務単価を踏まえた請負代金額の変更
3. 法定福利費等の適切な支払いと社会保険への加入徹底に関する指導等
4. 若年入職者の積極的な確保
5. ダンピング受注の取止めの徹底
6. 適正な工期の設定・確保と必要経費の確保
7. 建設キャリアアップシステムの活用による技能労働者の処遇改善

### 「目指せ！建設現場 土日一斉閉所」運動

全国建設業協会などは、「目指せ！建設現場土日一斉閉所」運動を今月から展開しています。ポスターなどを作成し、発注者や発注者団体への要請活動などを行い、全国の建設現場において土日を一斉閉所とすることを目指します。

建設業においては、週休2日（土日閉所）の定着が喫緊の課題となっています。令和6年4月からは時間外労働の罰則付き条件規制が適用されます。

こうした状況を受けて全建などは、大手、中小を問わず業界を挙げて建設現場（緊急工事、工程上やむを得ない工事を除く）において土日閉所を目指し、同運動を行うことになりました。

会員の皆さまは運動の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

筑西支部  
常総支部

## 下館河川と意見交換会

地元向け  
発注訴える



海津所長



小薬支部長



中川原支部長

筑西支部（小薬拓巳支部長）と常総支部（中川原勇支部長）は2月19日、国土交通省下館河川事務所（海津義和所長）との意見交換会を筑西支部会館で開催。地元業者の受注機会の確保などを訴え、意見を交わしました。

海津所長は「建設業界の賃金向上、休み確保、担い手の処遇改善、適正な工期設定など、円滑な施工のために努めていく」とあいさつ。

小薬支部長は「地方業者は地域の守り手として必要不可欠な産業だが、問題が山積。実りある会



議を祈念する」、中川原支部長は「担い手確保として、労働環境の改善に取り組む。地域の守り手として安全安心に努める」とあいさつしました。

支部からは①歩掛や単価の見積参考資料への「公表予定」の記載②現場代理人・監理技術者の施工期間中の育児休暇③現場にあった詳細な設計④地方業者が参加しやすい公募型指名競争入札の拡大⑤地元業者向け工事発注一を要望しました。

県北  
4支部

## プレキャスト樋管 見学会に参加



太田支部、常陸大宮支部、大子支部、高萩支部の技術者は2月15日、国土交通省久慈川緊急治水対策河川事務所（由井修二所長）が開催したプレキャスト樋管施工状況見学会に参加。災害復旧工事を速やかに進めるため、二次製品を活用した現場状況を研修しました。由井所長は「これから当事務所で発注する樋管工事は全てプレキャストを予定している」とあいさつしました。

常総支部  
活動報告

## 役員が年度末 パトロール

常総支部（中川原勇支部長）は2月7日、年度末パトロールを実施。中川原支部長など支部役員12人が、常総市、八千代町、下妻市の管内全域において、3班に分かれて15カ所の工事現場をパトロールしました。中川原支部長は「重機の点検を含め、年末と年度末に毎年実施している。無事故無災害を目指すべく、今後も役員でのパトロールを引き続き実施していきたい」と話しています。



## 女性目線で現場パトロール

建女ひばり会



本会の女性部「建女ひばり会」（柳瀬香織会長）は2月29日、つくば市の道路改良舗装工事の現場パトロールを行いました。幹事6人が参加し、女性技術者が活躍する現場を視察しました。

柳瀬会長は「ひばり会が独自に作ったチェックシートを基に、女性が働きやすい環境を重点的に見させていただく」とあいさつ。

視察現場は、茨城県土浦土木事務所が発注した「05 県単島整第 73—7 号、道路改良舗装工事（E 25 街区）」。

施工者は北都建設工業㈱（土浦支部）で、延長 344 m の道路を新設中。現場代理人の高橋千晶氏は「安全対策を特に意識し、目に見えるように掲示している。作業員さんとコミュニケーションも心掛けている」と話しました。

柳瀬会長は「現場事務所の周りがきちんと掃除されている。通路もきれいになっており、本当に素晴らしい」と感銘を受けていました。

## 能登半島地震の復興へ義援金

建設未来協議会



鈴木会長（中央）が目録を贈呈しました

建設未来協議会（鈴木達二会長）は3月5日、昨年実施した会員親睦行事のチャリティー収益金など10万円を能登半島の災害義援金として日本赤十字社茨城県支部へ寄託しました。鈴木会長、櫻井俊一副会長が県支部の服部隆全事務局長に目録を贈呈。鈴木会長は「被災地の一日も早い復興に向けて活用いただきたい」とあいさつ。服部事務局長は「被災者支援にしっかりと役立てていきたい」とお礼の言葉を述べました。

## 会員の動向

〈代表者変更〉

▽竜ヶ崎支部

桂建設㈱ 大野 登 → 石井 高子

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災  
補償制度

建設共済保険

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル 0120 - 913 - 931

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー